

読む将のススメ展

将棋作品をひもどく！

飛車

金将

玉将

歩

角

銀将

馬

将



2022年
4月29日(金・祝)
～6月26日(日)

10時～17時 観覧無料

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により会期が変更になる場合があります。

【休館日】毎週月曜日、5月12日(木)、
6月9日(木)

【協力】公益社団法人 日本将棋連盟

町田市民文学館ことばらんど

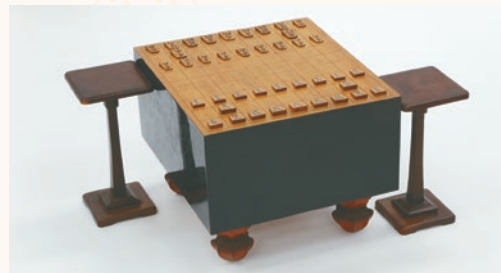
『それでも歩は寄せてくる』©山本崇一朗／講談社

将棋作品をひもとく!“読む将”のススメ展

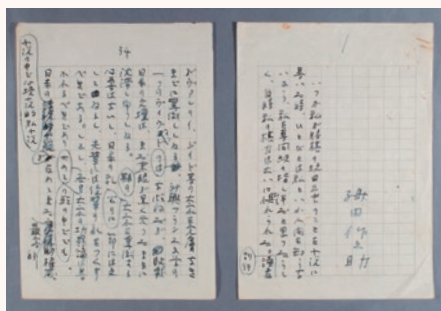
今、再ブームを迎えている将棋。自分では指さずに観戦を楽しむ「観る将」をはじめ、読み物を通して将棋を楽しむ「読む将」や「描く将」「書く将」「撮る将」など、将棋の新たな楽しみ方が生まれています。マンガやライトノベルの作品が人気を博し、大崎善生『聖の青春』や瀬川晶司『泣き虫しよったんの奇跡』など映画化される作品も生まれ、これらをきっかけに将棋に関心を持つ人も増えています。

そもそも文学と将棋の関わりは深く、近代文学の誕生以来、幸田露伴、菊池寛、江戸川乱歩、井伏鱒二、織田作之助、山口瞳など多くの作家が将棋に関心を寄せ、同時代の将棋界の動向も反映しながら、小説や随筆、評論、短歌など様々なジャンルの文学作品を生み出してきました。

本展では、近代以降の将棋を題材とした文学作品の歴史を追い、作家の原稿や取材メモ、愛用の駒、マンガ原画などの多彩な資料を展示します。将棋好きの方ももちろん、よく知らない方にとっても楽しめる将棋作品をご紹介します、みなさんを「読む将」の世界へご案内いたします。



江戸川乱歩日蔵将棋盤、駒、駒台
(立教大学江戸川乱歩記念大衆文化研究センター蔵)



織田作之助「可能性の文学」原稿
(日本近代文学館蔵)



芦沢央「神の悪手」(2021年 新潮社)、取材メモ、ゲラ
(個人蔵)



伊奈めぐみ『将棋の渡辺くん』(講談社)原画
(個人蔵)

関連イベント

芦沢央(作家) × 佐々木大地(棋士) 対談「将棋小説のたのしみ」

5月7日(土) 14:00 ~ 15:30

将棋短篇小説集『神の悪手』の作者・芦沢央さんと若手棋士として活躍している佐々木大地六段に、将棋を小説の題材にしようと決めたきっかけや執筆の裏話、棋士の視点からの作品の感想などをお話しいたします。

会場：当館2階大会議室 定員：50名(申込順)

申込：[1次] 4月15日(金) 正午から18日(月) 19:00 までイベシスで受付(イベントコード：220419F)。

[2次] 4月19日(火) 正午からイベシス及びイベントダイヤル(042-724-5656)で受付。

講演会「文学の中の将棋」

5月28日(土) 14:00 ~ 15:30

将棋を題材とした小説や評論、随筆、作家による観戦記などを通して、近代文学と将棋の関係についてお話しいたします。

講師：小谷瑛輔(明治大学准教授)

会場：当館2階大会議室 定員：50名(申込順)

申込：[1次] 4月15日(金) 正午から18日(月) 19:00 までイベシスで受付(イベントコード：220419G)。

[2次] 4月19日(火) 正午からイベシス及びイベントダイヤル(042-724-5656)で受付。

文学散歩 ～将棋会館周辺を歩く～

6月11日(土) 13:30 ~ 16:00

案内：当館学芸員 定員：15名(応募者多数の場合は抽選)

集合：JR 中央・総武線千駄ヶ谷駅/解散：東京メトロ千代田線乃木坂駅。参加者には後日、詳細をご連絡します。

申込：[1次] 5月1日(日) 正午から11日(水) 19:00 までイベシスで受付(イベントコード：220512A)。

[2次] 5月12日(木) 正午から25日(水) 19:00 までイベシス及びイベントダイヤル(042-724-5656)で受付。

詳細は当館ホームページをご覧ください

町田市民文学館ことばらんど

〒194-0013 東京都町田市原町田4-16-17

TEL: 042-739-3420 FAX: 042-739-3421

□ JR 横浜線町田駅ターミナル口から徒歩 8分

□ 小田急線町田駅東口から徒歩 12分



@machida_kotoba で最新情報配信中!

